

市長との対話集会開催記録

団体名	栗島小学校区自治会交流会	実施日	令和6年9月14日（土）
実施場所	北野公会堂	参加人数	29名

【主な内容】

- ・自治会、子ども会、民生委員などの担い手不足による地域課題について
- ・学校体育館への空調設置と避難所運営について
- ・地区内での公園整備や校庭開放について
- ・情報伝達のデジタル化について



【対話内容（抜粋）】



参加者

自治会や子ども会などに加入されない方が増加しており、役員のなり手不足も問題と感じています。市としての対策や、今後の地域づくりをどのようにしていけばよいでしょうか。

地域の担い手不足の問題については、北名古屋市に限らず多くの自治体が同じ悩みを抱えています。地域の特性があるため、自治会毎で抱える課題はそれぞれ異なります。これまでの画一的な支援ではなく、それぞれの自治会の自主的な活動をバックアップできるような関わり方が必要だと感じます。

今後、住民と行政の関係性の在り方を改めて皆さんで話し合い、まちづくりの基本的なルールとなるものを策定していきたいと考えています。



市長



参加者

若い子育て世代が増えており、子供たちが気軽に遊べる場所を確保してほしいです。

行財政改革の一環として児童遊園の適正配置および持続可能な公園運営について検討を進めており、現在、利用用途（通学団集合場所、資源集積所など）や利用状況を調査しております。以前にも栗島小学校区内への公園整備に関する要望をいただいておりますが、財政事情もあり新たに公園を整備するのは難しい状況であります。令和7年度中に、公園を含む公共施設全体の適正配置計画を策定する予定としております。

子どもたちに思いっきり遊んでもらえる場所を確保するため、今年度から、栗島小学校で「放課後の校庭開放」を試験的に導入しております。子どもたちからも好評で、このモデルケースを多くの学校に広げていければと考えています。



市長